

2020年3月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ラ フ ト  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 下 泰 樹  
(コード番号：5070 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 荒 浪 昌 彦  
(TEL. 03-5412-1001)

## 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2020年3月17日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2020年3月期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における当社グループの業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

### 【連 結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2020年3月期 (予想)		2020年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2019年3月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上高 比率		対売上 高比率		
売 上 高		5,900	100.0	25.6	3,237	100.0	4,696	100.0
営 業 利 益		506	8.6	33.0	62	1.9	380	8.1
経 常 利 益		497	8.4	36.1	76	2.4	365	7.8
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		319	5.4	22.7	53	1.6	260	5.6
1 株 当 たり 当期（四半期）純利益		83.95 円		14.17 円		69.52 円		
1 株 当 たり 配 当 金		8 円 00 銭		-円 -銭		4 円 00 銭		

- (注) 1. 2019年3月期（実績）及び2020年3月期第3四半期累計期間（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2020年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（720,000株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大177,000株）は含まれておりません。
3. 2019年11月29日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。上記では2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金を算定しております。
4. 2020年2月12日に公表いたしました「2020年3月期の業績予想について」において、2020年3月期（予想）の親会社株主に帰属する当期純利益対前期増減率を26.7%と記載しておりましたが、これを22.7%に訂正しております。なお、他の数値について変更はありません。

## 【2020年3月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、「ALL HAPPY BY DESIGN」という経営理念の下、オフィス・商業施設等の建物内装から都市開発プランの策定まで建築空間のデザイン企画・設計・施工を事業としております。

当社グループは、建築空間の中でもオフィスの企画・設計・施工を主力事業としております。近年、働き方改革や人材確保・離職防止の観点からオフィス環境が非常に重視される傾向にあり、より良いオフィス環境を求める需要が高まっております。利便性の高い東京23区のオフィス空室率は1%を下回る程逼迫している他（出所：株式会社ザイマックス不動産総合研究所「オフィスマーケットレポート東京2019Q2」）、経済産業省の健康経営オフィス普及啓発活動にみられるように、従業員が健康的に過ごせるオフィス環境の整備は経営の重要事項となっております。これに加えて、東京23区では床面積10万㎡以上の大型オフィスビルの竣工が複数予定されている一方で既存オフィスビルの平均築年数は30.9年となっております（出所：株式会社ザイマックス不動産総合研究所「オフィスピラミッド2019」）、既存オフィスビルは付加価値を高めるための施策が必要となります。オフィスビル内装のリニューアルは高付加価値化の手法の一つであり、この点も当社グループにとって追い風であると考えております。

一方、当社グループでは商業施設（店舗・ホテル等）の内装デザイン企画・設計・施工も行っております。同領域は景気変動の影響を受けやすいと考えており、景気の先行きが不透明となった場合には顧客の投資意欲が低下する可能性があります。当社グループは表面的な空間のデザインではなく、空間のデザインによる顧客の課題解決（ソリューションの提供）を目指しており、景気の変動に左右されない質の高い企画で顧客に貢献し、事業の成長を継続したいと考えております。

このような状況を踏まえ、当社グループの2020年3月期の業績（連結）は、売上高5,900百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益506百万円（同33.0%増）、経常利益497百万円（同36.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益319百万円（同22.7%）を見込んでおります。

### 2. 個別の前提条件

当社グループは、企画・設計・施工事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (1) 売上高

当社グループの事業対象は、オフィス、店舗、ホテル、ビル一棟のリニューアル、都市開発企画、ビル環境設計等多領域に渡ります。受注から引き渡し又は納品までの期間は案件の内容によって異なり、2～3ヶ月の短期の案件から数年先の案件まで多様であります。このため、案件の積み上げのみで将来の売上高を予測することは難しい状況にあります。

一方、当社グループ売上高の計上時期は、9月及び3月に集中する傾向にあり、過年度実績では上半期と下半期の売上高の比率は、おおよそ上半期4割・下半期6割となっております。この季節変動は月単位・四半期単位では年度により大きな差が生じるものの、上半期・下半期の比率については比較的差が少なく、上半期の数値を基準とした下半期売上高の予測に使用できると考えております。

このため、2020年3月期の売上高見込みにつきましては、「① 受注済又は受注可能性のある見込み案件の積み上げ」、「② 過年度実績に基づく季節変動比率を使用した計算値」の2つの数値を算定し、その平均値である5,900百万円としております。

- ① 2019年9月時点における上半期売上高見通し2,513百万円及び下半期の受注済又は引き合い状態等の受注可能性のある個別案件の積み上げ分約3,464百万円を合算した年間売上高の見通し約6,000百万円
- ② 2019年9月時点における上半期売上高見通し2,513百万円と、直近3年間の売上高季節変動の上半期・下半期比率平均（上半期43.7%：下半期56.3%）から下半期売上高見通しを3,237百万円と算出し、これらを合算した年間売上高の見通し約5,800百万円

なお、第3四半期累計期間の実績は、売上高3,237百万円で2020年3月期の業績予想に対する進捗率は54.9%となりました。当社グループの売上高は季節変動が大きく、毎年第2四半期及び第4四半期に売上が集中する傾向にあります（下表は2019年3月期における季節変動）。2020年3月期は、2019年3月期以上に受注案件が第4四半期へ集中しており、通期については計画どおりの売上高を見込んでおります。

<2019年3月期 四半期売上高の推移>

区分	売上高 (百万円)	構成比 (%)
第1四半期	755	16.1
第2四半期	1,376	29.3
上期合計	2,132	45.4
第3四半期	848	18.1
第4四半期	1,716	36.5
下期合計	2,564	54.6
通期合計	4,696	100.0

(注) 各四半期連結会計期間の数値は会計監査人による四半期レビューを受けておりません。

(2) 売上原価、売上総利益

当社グループでは、売上原価を直接外注費・材料費、その他の原価に区分して管理しております。

当社グループでは、売上高から直接外注費・材料費を控除した管理会計上の利益の比率（以下、「直接利益率」といいます。）を計画策定上の指標としており、2019年9月時点における受注済又は受注可能性のある案件の合計の直接利益率（33.4%）を2020年3月期の直接利益率といたしました。2020年3月期の直接外注費・材料費は、当該比率から逆算して算定しております。

なお、第3四半期連結累計期間の直接利益率の実績は32.8%であります。

その他の原価は、労務費・地代家賃等で、2019年3月期実績及び人件費等の計画を基に算定しております。

以上の結果、2020年3月期の売上原価は4,430百万円（前年同期比22.9%増）、売上総利益を1,469百万円（同34.6%増）と見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、継続的に発生が見込まれる費用及び将来追加で発生が見込まれる費用を積み上げて算出しております。

当社グループの販売費及び一般管理費で最も比率が高いのは人件費であり、事業拡大に伴う人員増加、昇給・昇格等により、504百万円（前年同期比32.6%増）（注2）を計画しております。

この他、人員の増加に対応するためサテライトオフィスを設置したことによる地代家賃及び減価償却費の増加、PC及び業務利用ソフトウェアの購入等オフィスインフラに係る費用の増加、事業拡大を目的とした広告宣伝費の増加等を見込んでおります。

この結果、販売費及び一般管理費全体では962百万円（同35.4%増）（注2）、営業利益は506百万円（同33.2%増）を見込んでおります。

（注2）売上原価及び仕掛品に含まれる労務費・地代家賃等を考慮した場合の人件費合計は870百万円（前年同期比24.8%増）、販売費及び一般管理費合計は1,486百万円（同27.5%増）となります。

なお、第3四半期累計期間の営業利益は62百万円となりました。2020年3月期の業績予想に対する進捗率は12.3%となりました。当社グループの2019年3月期における営業利益の季節変動は次頁の表のとおりであり、特に第1四半期及び第3四半期は、販売費及び一般管理費が固定費として各四半期において比較的均一に発生する一方で、売上高が少ないために営業利益が大きく減少する傾向にあります。前述のとおり、2020年3月期は2019年3月期に比べて第4四半期への売上の集中傾向が強く、営業利益についても第4四半期に集中する見込みです。このため、通期については計画通りの営業利益を見込んでおります。

<2019年3月期 四半期営業利益の推移>

区分	営業利益 (百万円)	構成比 (%)
第1四半期	△28	△7.5
第2四半期	145	38.2
上期合計	116	30.7
第3四半期	1	0.4
第4四半期	262	68.9
下期合計	264	69.3
通期合計	380	100.0

(注) 各四半期連結会計期間の数値は会計監査人による四半期レビューを受けておりません。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益につきましては、生命保険解約による返戻金等 25 百万円を見込んでおります。また、営業外費用については、銀行からの借入金に係る利息として 12 百万円、上場に関連する費用として 22 百万円を見込んでおります。

以上の結果、2020年3月期の経常利益は 497 百万円（前年同期比 36.1%）を見込んでおります。

なお、第3四半期累計期間の経常利益は 76 百万円となりました。2020年3月期の業績予想に対する進捗率は 15.3%となります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期につきましては、特別損益を見込んでおりません。

以上の結果、2020年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、319 百万円（前年同期比 22.7%増）を見込んでおります。

なお、第3四半期累計期間の親会社株主に帰属する当期純利益は 53 百万円となりました。2020年3月期の業績予想に対する進捗率は 16.6%となります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月17日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東  
 コード番号 5070 URL https://draft.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 泰樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 荒浪 昌彦 TEL 03-5412-1001  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,237	—	62	—	76	—	53	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 53 百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 — 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	14.17	—
2019年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 当社は、2019年11月29日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,181	441	20.2
2019年3月期	2,171	402	18.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 441 百万円 2019年3月期 402 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	200.00	200.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

- (注) 1. 当社は、2019年11月29日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 2. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	5,900	25.6	506	33.0	497	36.1	319	22.7	83.95

- （注）1. 2020年3月期の1株当たり当期純利益は、公募による新株式数（720,000株）を含めた予定期中平均株式数により算出しております。  
 なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大177,000株）は含まれておりません。  
 2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	3,750,000株	2019年3月期	3,750,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	－株	2019年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	3,750,000株	2019年3月期3Q	－株

（注）1. 当社は、2019年11月29日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では政府による各種施策の効果もあって緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外では米国と中国の貿易を取り巻く軋轢、英国の合意なきEU離脱の可能性等が意識され、世界的な景気の減速が懸念される状況となりました。

当社グループの事業領域においては、働き方改革や雇用確保の必要性等から、デザイン性の高いオフィスへのニーズは引き続き拡大しており、高付加価値型オフィスの設計・施工を得意とする当社グループにとっては良好な事業環境となっております。この機会を確実にとらえ、また、業務実施体制及び経営管理体制の強化を進めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,237,785千円、営業利益は62,514千円、経常利益は76,120千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は53,146千円となりました。

なお、当社グループは企画・設計・施工事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績の状況については記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、2,181,220千円となり、前連結会計年度末と比較して9,567千円増加いたしました。これは、主に売掛金が319,641千円減少した一方で、現金及び預金が239,363千円、仕掛品が88,726千円及び未収還付法人税等が39,817千円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,740,210千円となり、前連結会計年度末と比較して28,671千円減少いたしました。これは、主に短期借入金が増加した一方で、買掛金が113,016千円、前受金が101,907千円及び未払法人税等が57,377千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、441,010千円となり、前連結会計年度末と比較して38,238千円増加いたしました。これは、主に剰余金の配当15,000千円を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益53,146千円を計上したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経営環境の変化等の様々な要因によって異なる場合があります。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,514	1,143,877
売掛金	726,505	406,863
商品	16,027	38,347
仕掛品	107,392	196,119
未収還付法人税等	—	39,817
その他	47,751	54,890
流動資産合計	1,802,191	1,879,916
固定資産		
有形固定資産	126,665	103,031
無形固定資産	21,366	23,504
投資その他の資産		
敷金及び保証金	105,453	102,665
繰延税金資産	50,514	32,271
その他	65,461	39,832
投資その他の資産合計	221,429	174,768
固定資産合計	369,461	301,304
資産合計	2,171,653	2,181,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	399,139	286,123
短期借入金	200,000	483,334
1年内返済予定の長期借入金	416,741	353,115
前受金	131,279	29,372
未払法人税等	57,377	—
賞与引当金	52,510	33,982
完成工事補償引当金	11,000	6,000
その他	150,383	132,366
流動負債合計	1,418,430	1,324,293
固定負債		
長期借入金	350,451	415,917
固定負債合計	350,451	415,917
負債合計	1,768,881	1,740,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金	378,017	416,164
株主資本合計	398,017	436,164
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,754	4,846
その他の包括利益累計額合計	4,754	4,846
純資産合計	402,771	441,010
負債純資産合計	2,171,653	2,181,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,237,785
売上原価	2,483,424
売上総利益	754,361
販売費及び一般管理費	691,846
営業利益	62,514
営業外収益	
受取利息	35
保険解約返戻金	24,088
その他	3,253
営業外収益合計	27,377
営業外費用	
支払利息	11,183
その他	2,587
営業外費用合計	13,770
経常利益	76,120
税金等調整前四半期純利益	76,120
法人税、住民税及び事業税	4,316
法人税等調整額	18,657
法人税等合計	22,973
四半期純利益	53,146
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,146

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	53,146
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	92
その他の包括利益合計	92
四半期包括利益	53,238
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	53,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、企画・設計・施工事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。